

透析患者の吉永義秋様が快挙！ 県障害者水泳大会で優勝されました！！

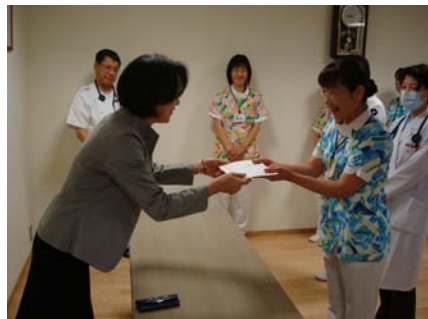
上山病院で透析を受けていらっしゃる吉永義秋様が、4月25日に開かれた鹿児島県身体障害者水泳大会の「男子25m自由形」と「男子25mバタフライ」で見事優勝されました。おめでとうございます。

「透析導入をきっかけにしばらく水泳をやめていましたが、少しでも楽しみを増やしたいと5年前から再開しました。昨年から大会に出場するようになり、練習量も増加し、その結果体力が向上しました。」と吉永様。以前服用していた血圧の薬も服用しなくてもよくなったそうです。「体重コントロールもうまくいき、毎日体調はGoodです！今では毎日が楽しいです。」と笑顔で話されていました。現在のスクールには、練習中の泳ぎを見た方にスカウト(!)されて“移籍”したそうです。

目指す次の大会は市と県のマスターズ大会とのこと。ぜひ頑張ってください！！



第1回本部長賞が決定！



第1回本部長賞に、病院透析室の佐藤美都子さんが決まりました。5月10日の病院全体朝礼において授与式が行われ、上山本部長から賞状と金一封が贈られました。仕事と通信課程における勉学を両立させ、見事看護師国家試験に合格し、職員の模範となった功績が認められました。

佐藤さんは受賞後のスピーチで「職場の皆さんの協力があって成し遂げることができました。資格を目指している職員の励み

になればうれしいです。」と話していました。

この本部長賞は、仕事上の功績や患者様への心温まる接遇など、腎愛会グループ職員の好ましい行為を称え、月1回表彰するもので、今年4月からスタートしました。

職員の皆さん、次の本部長賞を目指して頑張りましょう！



落ち着いて機敏にてきぱきと！～上山病院で消防訓練が行われる

4月22日(火)午後4時から上山病院で消防訓練が行われました。火災報知機の警音が鳴り響く中、職員は患者役の職員を誘導するなど、割り当てられた役割を真剣な表情でこなしていました。あいにくの雨でしたが、2階透析室では避難救助袋を実際に使って、2階から1階に患者役職員を降ろす訓練も実施されました。

訓練後、脇田分遣隊の仮屋隊長よりご講評をいただき、「避難誘導係は出口付近に立って『こっちです！』と大きく手まねきしながら大声



で誘導する」「逃げ遅れがないか確認したあとの部屋には、チョークで印をつけるとともに、延焼防止のためドアを閉める」「有毒ガスの吸い込みで早ければ10秒で動けなくなる。早急な避難を」といったご指導がありました。

防火管理者の施設課住吉主任は「火災はいつ発生するか分からないので、部署の職員全員が火災時の役割をすべて理解する必要があります。日頃から避難方法などの対応をしっかりと職員に周知してもらいたいです。」と話していました。

